

第30回 都市環境エネルギーシンポジウム 開催報告

1. 主 催：一般社団法人 都市環境エネルギー協会
2. 後 援：国土交通省、港区
協 賛：(一社)日本熱供給事業協会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター
(一財)コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
(一社)日本建築学会、(公社)空気調和・衛生工学会、(公社)日本都市計画学会
3. 日 時：令和5年11月30日(木) 13:30～17:00
4. 会 場：TKPガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール6A
5. テーマ：「東京のカーボンニュートラルとBCDを考える」シンポジウム
6. プログラム：(敬称略)
 - 13:00～ 開 場
 - 13:30～13:35 開会の挨拶 当協会 副理事長 柳井 崇(株)日本設計 常務執行役員)
 - 13:35～14:00 基調講演「大都市の脱炭素化と街づくり」
京都大学 大学院 経済学研究科 教授 諸富 徹
 - 14:00～14:20 基調報告「脱炭素化に向けたまちづくりに関する国土交通省の取組み」
国土交通省 大臣官房技術審議官(都市局担当)菊池 雅彦
 - 14:20～14:40 基調報告「東京ガスの CO2 ネット・ゼロに向けた取組み」
東京ガス(株) 常務執行役員 菅沢 伸浩
 - 14:40～15:00 基調報告「港区のまちづくりにおける脱炭素への取組み」
港区 街づくり支援部 都市計画課長 野口 孝彦
 - 15:00～15:20 <休 憩(20 分)>
 - 15:20～16:50 パネルディスカッション
【コーディネーター】
尾島 俊雄(早稲田大学名誉教授 当協会理事長)
【パネリスト】
諸富 徹(京都大学 大学院 経済学研究科 教授)
筒井 祐治(国土交通省 都市局 市街地整備課長)
清田 修(東京ガス(株) カスタマー&ビジネスソリューションカンパニー
企画部 エネルギー公共グループマネージャー)
野口 孝彦(港区街づくり支援部都市計画課長)
村上 公哉(芝浦工業大学 建築学部 建築学科 当協会理事)
 - 16:50～17:00 閉会の挨拶 当協会 副理事長 長門 秀樹(新菱冷熱工業(株) 執行役員)
7. シンポジウム参加者数
受講者 104 名(会員 77 名、一般 16 名、学生 1 名、招待 10 名)
講師・協会関係者 20 名
合 計 124 名

8. 総括

CO2 排出量の増加に伴い、近年、異常気象などの気候変動影響が地球規模で増大しており、わが国では、台風や豪雨による大災害が毎年発生する事態になりました。持続可能な成長のためには、社会全体を「脱炭素化」へ大胆かつ速やかに転換していくことが不可欠です。また、都市の安全・安心に寄与するためのBCD機能強化も必要です。本年は、再開発がすすむ東京にて開催致しました。

今年のシンポジウムは、会場でのリアル参加とさせていただきます。前半の基調講演・基調報告に続き、後半のパネルディスカッションでは、最初に登壇者の方々に、ショートプレゼンをお願いいたしました。登壇者の皆様より示唆に富む貴重なご見識をご披露いただくことができました。その後、会場からの質疑応答を中心に、パネルディスカッションが展開されました。

アンケートでは、今年は76%が東京からの参加者でした。その参加目的は、脱炭素、エネルギー、地域熱供給が主要な目的であり、聞きたいテーマとしては、未利用・再生エネルギーと脱炭素化が大きな割合を占めていました。満足度については、会員企業、自治体、一般の参加者からも大変好評でした。

また、現場見学会は、開業したばかりの麻布台プラントを人数限定で実施させていただきました。

最後に、シンポジウムにご参加の皆様、熱心にご講演いただいた講演者の皆様に深く御礼を申し上げます。

基調講演：諸富先生



基調報告：菊池審議官



基調報告：菅沢常務



基調報告：野口課長



基調講演・基調報告



ー パネルディスカッション ー

【コーディネーター】



尾島理事長

【パネリスト】



国交省：筒井課長



東京ガス：清田 GM



芝浦工大：村上先生



港区：野口課長



京都大学：諸富先生



パネルディスカッション風景